

## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

### 高砂屋とNHK 見学

H31. 2. 26 (火)

#### <高砂屋見学>

桃の節句を間近に控え、高砂屋にはたくさんのお雛様が飾られていました。子どもたちは時代によって雛人形の飾られ方や人形の素材に違いがあることに気づきながらゆっくりと楽しんで鑑賞しました。また、蔵には元大工町のあゆみも展示され、名前の由来の紹介や当時の地図を見ることができました。



#### <NHK の見学>

色とりどりの鳥取を紹介する「いろ★どり」のスタジオ内を見学しました。スタジオの床には立ち位置が分かるようにアナウンサーの名前が書かれたシールが貼られていたり、3台のカメラから撮影した映像がリアル

タイムで大型テレビに映し出されたりする様子を見て、興味を持ってスタジオでの体験をすることができました。また、NHKの屋上に設置されているカメラで、遠く離れた南隈や賀露までもくっきりと映していることに驚いていました。このカメラは防災にも活用されると聞き、災害時に果たす情報機関の役割についても学ぶことができました。

## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

調理実習としおり作り

H31. 2. 18 (月)

久岡先生にお越しいただいて、白菜と豚肉のラザニア風、スイートポテトピラフ、大根スープ、大根サラダの調理を教えてくださいました。すなはま農園で収穫した野菜（大根・人参・白菜）を使ったメニューを計画していただきました。



子どもたちはイタリア料理を作るのは初めてでしたが、身近な材料と道具で洋風な料理ができて上がるのを楽しみに作りました。

会食では、お世話になった先生方を招いて、おいしくいただきました。

午後からは、消しゴムはんこや、クラフトパンチの切り抜き、イラスト等を入れて、工夫しながらオリジナルのしおりを作りました。自分だけのしおりということで、完成したものを見せ合って、「かわいいのができた。」「色が素敵だね。」と喜んでいました。



## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

### 新日本海新聞社の見学

H31. 2. 12 (火)

新日本海新聞社では、日本海新聞が地域に根差した新聞であること、配る地域によってその地域のニュースが取り上げられていることを学びました。新聞を用いて、題字や見出し、リードなど新聞の構成についても説明があり、実際に自分たちでも見出しをつけてみる体験をしました。分かりやすくインパクトのある見出し作りの工夫やコツを学ぶことができました。



その後、各部署を見学しました。記者や整理の部署では、仕事内容によって働く時間帯が違うこと、記者は内容によって4つの班に分かれて記事を集め、班ごとに検討して紙面を構成していることが分かりました。



午後からは、新聞を使ってスクラップの仕方を学びました。テーマを決めて記事を集め、それを切り抜いて工夫して配置していきました。出来上がりを互いに紹介し、新聞社の方にそれぞれの素敵なところを褒めていただきました。スクラップは初めてという子どもたちでしたが、一人一人の興味でいろいろなスクラップができたこと、切り抜き方でインパクトが違うことなどを学びました。



## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

国際交流会

H31. 2. 6 (水)

鳥取市の文化交流課から3名の国際交流員の方にお越しいただきました。

始めに韓国、中国、ドイツの挨拶を教えてくださいました。慣れない発音もありましたが、何度か繰り返すうちにうまく言えるようになりました。



交流員の方に「とても協力体制ができていますね。手際がいいです。」と褒めていただき、子どもたちは誇らしく嬉しそうにしていました。予定時刻ぴったりに出来上がり、みんなで会食しました。コチュジャンの辛味も気に入ったようで、おいしくいただきました。



方々と一緒にしました。調理活動や会食を通して、交流員の方と笑顔で話ができ、楽しい交流会となりました。



次に、韓国の料理のピビンバップ、チヂミ、ワカメスープを教えてくださいました。一緒に作りしました。ピビンバップは、材料をゆでたり炒めたりと手順が複雑だったのですが、交流員さんに教わりながら、子どもたちはてきぱきと調理しました。



午後からは、中国の交流員の方にお国のことを紹介していただきました。中国では、日本のアニメがよく見られていることや昼休憩にお昼寝タイムがあってリフレッシュをする学校が多いことを知りました。子どもたちは、国によって文化や習慣が違うこと、中国は広くて共通の言語ではないことにも驚いていました。

最後に、ドイツと韓国の遊びを交流員の方

## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

鳥取県警本部の見学と科学実験

H31. 1. 29 (火)

### <鳥取県警察本部の見学>



午前は、県民ホールで警察本部の仕事の説明をしていただきました。その後、通信指令室と交通管制室を見学しました。鳥取県内の110番通報はすべてこの指令室へつながり、ここから現場に向かう指令を出すということでした。設置されているカメラの映像が壁いっぱい映し出されており、通報の件数も表示され刻々と変化する様子を見ることが

できました。交通管制室では旧型の信号機とLEDの信号機を比べて、LEDがずいぶん明るく見やすくなってきていることに気づくことができました。

### <こども科学館の出前科学実験>

午後は、こども科学館の担当者の方にお越しいただいて、すなはま教室にて科学実験をしました。プラズマボールに触ったり、電子レンジでオーロラを作る実験を見せていただいたりしました。「静電気を使って遊ぼう」では、子どもたちは静電気で、荷造り紐のクラゲを空中に浮かばせることに夢中になっていました。コツをつかんだ子どもがみんなに教えて、みんなで浮かべて楽しむことができました。



実際に実験器具に触れたり、起きている現象の原理を知って確認したりすることができました。科学の不思議さや面白さを実感した1時間でした。

## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

### 書初めと百人一首大会

H31. 1. 22 (火)

#### <書初め体験>

稲垣晴雲先生においでいただき、書初めをしました。各自が自分の好きな言葉を毛筆で書きました。「春光」「もち」「東雲」等、新春らしい言葉を練習しました。一人一人書字の手ほどきをしていただき、子どもたちは1時間半集中して取り組みました。終わりに「この時間最初に書いた文字と最後に書いた文字を比べてどうなったかが大事。みんなとても上手になっている。」と、先生からほめていただきました。熱心に練習した成果を各自が確認して、満足そうでした。



#### <百人一首大会>

百人一首を2対2の4人組で対戦しました。中学生と小学生が交じて対戦しましたが、各自お気に入りの句があり、一生懸命とろうとする姿が見られました。1回戦を終えると、子どもたちは「集中していたので疲れまし  
た。」「前回したときよりたくさん取れてうれしいです。」「後日またやりたいね。」と話していました。

年の初めの体験活動で、気持ちを落ち着かせたり、集中力を高めたりすることができました。



## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

### 調理実習（シュウマイ）と消しゴムハンコづくり

H31. 1. 15（火）

＜調理実習（シュウマイ・ジャガイモの煮物）＞

シュウマイとジャガイモとニンジンの煮物を作りました。

シュウマイを初めて手作りした子どもがほとんどでしたが、豚肉と玉ねぎのみじん切りを混ぜた具を丁寧に皮で包んでいました。みんなで約 100 個ものシュウマイを作りました。



また農園で作ったジャガイモとニンジンで煮物を、ダイコンと白菜でみそ汁を作りました。自分たちで収穫した野菜を使うことができました。

昼食にみんなでいただきました。「おいしい、おいしい。」と、シュウマイをお代わりにして 10 個も食べた子どももいました。

＜消しゴムハンコと曼荼羅ぬりえ＞

中学生は、消しゴムを削って落款（らっかん）を作りました。自分の名前を漢字やひらがなでデザインして、下絵を描き、消しゴムに写して彫りました。約 1 時間熱心に彫り、最後にハンコを押して出来上がりを見て、ほっとした様子でした。小学生はぬりえに取り組みました。細かな図柄を丁寧に色鉛筆で塗り、最後はラミネートにはさんで仕上げました。

調理実習や午後の創作活動に、協力し合い、助け合って取り組むことができ楽しく活動することができました。



## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

### さじアストロパークの見学

H31. 1. 8 (火)

佐治は、一面白銀の世界でうさぎの足跡も見ることができました。

午前中は、クイズラリーをしました。館内の1、2階や階段の各所に合計24問の問題があり、子どもたちは「クイズを解くのが楽しい。」と言いながら館内を巡っていました。

隕石をじっくり見たり、惑星の大きさを比べたり、宇宙メダカの子孫を観察したりしました。また地球では7キロのものが、月では軽く、木星では重いことも体験でき、クイズを解くことを通して、天体や宇宙に関して興味をもつことができました。



午後はプラネタリムの上映で、冬の星座について専門員の丁寧な説明を聞きながら、星の世界を味わうことができました。

最後は、大型の天体望遠鏡での観測体験でした。天井が大きく開く様子や、パソコンで自動観測の設定ができる様子に驚いていました。



専門員が「火星」と「こと座のベガ」の観測をする設定をしてくださいました。あいにくの曇り空ではっきりとした観測はできませんでしたが、天体望遠鏡のスケールの大きさに触れることができました。

星座や宇宙が身近に感じられる体験となりました。



## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

### 裁判所とわらべ館の見学

H30. 12. 18 (火)

#### <裁判所の見学>

裁判所がどんな役割をしているかを学びに出かけました。裁判所では、もめごとの解決や罪を犯した疑いで起訴された人を法に基づいて裁く仕事をしていることを知りました。

法廷に入って、傍聴人席から裁判官、検察官、弁護士、被告人の席を確認しました。子どもたちは、「テレビ番組の裁判シーンと同じだ。」「各席にディスプレイがあって、IT化が進んでいる。」「裁判官の法服を着てみたけど、色は黒色、着物をイメージした袖になっている。」と見学して分かったことを述べていました。



#### <わらべ館の見学>

わらべ館では、普段はガラスケースに展示されているからくりおもちゃを見せてもらいました。専門員の方が、説明しながら軸を動かしてくださると、いろいろな形の歯車が回り、動物や人形がおもしろい動きを生み出します。からくりの仕組みを実際に見ることができて、子どもたちはとても興味

深かったようです。実際に自分たちで何度も軸を回して、その仕組みをじっくりと観察していました。外国のからくりおもちゃは動きがユニークで、ブラックユーモアたっぷりの物語を楽しみました。また、子どもたちにはアニメソングのカラオケコーナーも人気で、数人で口ずさんだり個々に歌って聞き合ったりして、互いの親交を深めることができました。

## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

### 折り紙で共同制作

H30. 12. 11 (火)

ものづくり講座の貞谷隆子先生に教えていただき、因州和紙を使って菊の花を折りました。

和紙の大きさを3センチから12センチまでいろいろと変えて折りました。折り方は同じですが、和紙の色合いや花びらの組み合わせで、菊の花の雰囲気違います。



3センチの折り紙は本当に小さくて、子どもたちは指先に神経を集中して折っていました。大きささまざまな花を並べてみると、華やかで素敵な共同制作になりました。

子どもたちと相談して、題を「十人十色」とつけました。一つ一つの花がそれぞれに美しいように、子どもたちが自分色の花を咲かせてくれるように願っています。

すなはま教室では毎年共同制作を行っています。今年度はこの作品を教室に飾りました。教室が明るく華やかになりました。

## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

### 餅つき体験

H30. 12. 4 (火)

すなはま教室で餅つきをしました。  
臼と杵を使って、2臼分をつきました。  
杵を使っての餅つきは、保育園以来という子どももいましたが、掛け声をかけながら一人が10回ずつ交代しながらついていくと、ふっくらとした柔らかなお餅ができました。



餅つきは個人作業ではなく、みんなが仕事を分担し合ってやっとできること、一人一人は小さな力でも協力してつくことでおいしいお餅になることが分かりました。



お餅は小豆のあんこ餅ときな粉餅にして食べました。甘いお餅とすなはま農園の野菜を使った豚汁で、おなかいっぱいになりました。





## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

すなはま保護者参観日

H30. 11. 27 (火)

すなはま教室の保護者参観を行いました。

午前中は、調理実習で「ちらし寿司と茶碗蒸し、お吸い物」を作って保護者の方といただきました。また、農園でとれたサツマイモで大学イモを作って、午後からのおやつタイムに食べました。



午後からは、手話や詩の朗読、絵本の読み聞かせ等を保護者に見ていただき、その後すなはま教室の学習や体験活動の様子をスライドショーで紹介しました。



子どもたちも保護者と一緒に体験活動や集団活動のスライドを見て、入級してからのことを振り返っていました。特に、ポニー牧場での乗馬や保育園訪問のスライドでは、実際の体験を思い出したようで笑顔が見られました。

## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

福部保育園へ訪問交流

H30. 11. 20 (火)

福部保育園へ交流に行きました。手話を交えて「もみじ」を歌ったり絵本の読み聞かせをしたり、クイズをしたりと、保育園児に楽しんでもらえることをめあてに交流しました。手遊び歌では、保育園児も手振りを交えて大きな声で一緒に歌って、子どもたちも思わず笑顔になっていました。○×クイズも大いに盛り上がり、楽しんでもらえた達成感を感じていました。



そのあと、くま組さんの部屋で一緒にカルタやトランプ、ラキューをしたり、昼食を食べたり、ふれあいを楽しみました。子どもたちは、のびのびと活動する園児たちの様子に、自分たちの小さかった頃のことを思い出しているようでした。

緊張して出かけましたが、親しく触れ合うことができ、心に残った体験活動になりました。

## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

### アトリエ小学校での絵画体験と因幡万葉歴史館の見学

H30. 11. 13 (火)

アトリエ小学校へ絵画体験に行きました。

はじめに、福田先生が描かれた鳥取の四季の風景や古民家のたたずまい、植物や動物の絵葉書を見ました。子どもたちは自分たちが知っている場所を見つけて声をかけ合ったり、自分の好きな絵葉書を選んだりして、スケッチの美しさを楽しみました。



その後、自分たちの描く題材を選び、描き始めました。「色鉛筆の色がたくさんあって、嬉しい!」「どんな色がいいのか迷うなあ。」と言いながら描いていました。あっという間に1時間30分が過ぎましたが、子どもたちは自分の作品を仕上げることができてとても満足そうでした。

因幡万葉歴史館では、大伴家持のことや梶山古墳のことを説明していただきました。日本を代表する歌人が鳥取の国司として務め、万葉集に鳥取での暮らしが読み込まれた歌が収められていることを知りました。

子どもたちは今から1300年前の人々の服装や食事を知り、当時の鳥取の様子に思いを巡らせていました。





## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

鳥取大学でものづくり体験

H30. 11. 6 (火)

鳥取大学に行き、ものづくり体験と研究室や図書館の見学をしました。

大学では、初めに大学生の昼食を体験しました。学食で510円を上限に各自思い思いに注文して食べました。ラーメンが人気でした。

次に、ものづくり体験でラジオを作りました。基盤はすでにハンダづけされたものを利用し、スイッチや調整つまみをとりつけて完成させました。電池を入れて音が鳴り出したときは、「おおっ！」と感嘆の声をあげていました。



工学部研究棟では、中国地方に2つしかないという電子顕微鏡（SEM）で身近なものを拡大して見ることにチャレンジしました。倍率が10の10乗倍と想像できないほどの倍率まで上げられる電子顕微鏡で、髪の毛のキューティクルを見たり、シャープペンの芯を見たりしました。子どもたちは、「シャープペンシルの芯の側面は樹木の表皮のようだ。」「断面はまるで月面のようだ。」「画像を見ただけでは

何かを言い当てることはできないなあ。」と話していました。細かったり小さかったりしてもその構造は規則的であり、用途に合った特性を備えていることにびっくりしていました。

最後に、大学図書館を見学しました。

図書館には54万冊もの図書や文献があり、大学生が学習に利用するスペースもたくさん設けられていて、個別の調べ学習やグループ学習に活用されていました。大学生がどんな環境で学習しているかを知ることができました。



大学での研究の様子や学びの様子を見学して、驚きと感嘆の一日でした。

## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

なないろデイサービスへ訪問交流 H30. 10. 30 (火)

なないろデイサービスへ交流に行きました。

手話を交えて「もみじ」を歌ったり、詩を朗読したり、クイズをしたりと、通所者の方々に楽しんでもらうように練習していたことを披露しました。ハンドベルで「ふるさと」を演奏したとき、皆さんが大きな声で一緒に歌ってくださり、一体感が高まりました。



最後に、「皆さんにこれからも元気で幸せに過ごしてほしいという願いを込めて、フクロウのしおりを送ります。」と一人ずつにプレゼントを手渡しました。

一生懸命に披露する子どもたちを温かく見守り、笑顔で参加してもらい、子どもたちも達成感を持って交流することができました。

## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

ポニー牧場での乗馬体験

H30. 10. 23 (火)

空山のポニー牧場に行きました。牧場では、乗馬や厩舎の掃除、ポニーの世話等を体験しました。

始めに、3人組になって厩舎の掃除をしました。厩舎の馬糞を片づけたり、敷き詰められているおがくずを一か所に山積みにしたりしました。子どもたちは初めての経験でしたが、きれいになるまで一生懸命掃除ができました。



馬に乗るには、馬とコミュニケーションをとることが大事ということで、まずにおいを嗅がせて、目を合わせ、スキンシップをしていくことと教えてもらいました。子どもたちは、歩き始めや歩行を止めるときの合図を習って、馬場を2周回りました。2周目に入るころには、気持ちにも余裕ができて、にこやかな表情で乗馬を楽しんでいました。

乗馬後に餌やりとブラッシング、蹄の手入れをしました。子どもたちは、「乗せてくれてありがとう。」と言いながら、ニンジンをやったり、頭をなでたりしました。

子どもたちは、「体験する前は馬に対して怖いイメージを持っていましたが、ポニーはかわいくて優しくかったです。」「ポニーに乗ったり蹄の手入れをしたりして、楽しかったです。慣れたらとてもかわいかったです。」と感想を述べていました。

ポニーと触れ合いの中で、たくさんいい笑顔が見られました。





## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

### そば打ち体験と宇倍神社見学

H30. 10. 16 (火)

#### <そば打ち体験>

国府町でそば打ち体験をしました。ほとんどの子どもがそば打ちは初めてでしたが、教えてくださる吉野そばの方の説明をしっかりと聞いて、上手にのし棒を使っていました。最後にそばを畳んで切るところまでしました。そばを切る機械は包丁を持ち上げる角度で切り幅が調整できる優れもので、そのマシンのすばらしさに感心していました。



子どもたちは、「そばをこねるとき力が必要で大変だった。」「3人組で協力してやっとそばが完成した。」と話していました。みんなの協力でそばができ、かけそばにしてもらっておいしくいただきました。

#### <宇倍神社見学>

因幡一の宮「宇倍神社」では、神社の方に説明を受けながら、見学しました。宇倍神社は、武内宿禰命（たけのうちすくねのみこと）を祀っている神社で、明治時代の紙幣には武内宿禰命と宇倍神社が載ったことがあるという由緒ある神社だそうです。子育ての神様、長寿の神様として信仰されてきました。



子どもたちは、「神社の階段が結構あって上るのが大変だったけれど、宝物殿でいろいろ貴重な宝物が見られてよかった。」と感想を述べていました。

## 適応指導教室「すなはま」の体験活動

警察学校と鳥取砂丘コナン空港の見学 H30. 10. 2 (火)

### <警察学校>

警察学校では、装備点検と逮捕実技での護身訓練、鑑識作業を見学しました。子どもたちは、装備点検での指示や応答の声の大きさ、きびきびした動作に驚いていました。警察官が装備している手帳や警棒、手錠等を見せてもらったり、手袋やチョッキを実際に着させてもらったりしました。丁寧に説明してくれる警察学校の生徒の皆さんに親近感を持ち、子どもたちは、「若々しくてカッコよかった。」と話していました。



鑑識作業の見学では、アルミの粉と石松子を混ぜて机の上にする作業を実際に体験して、指紋が浮かび上がってくる様子が興味深かったです。

危険な事に対処するために日々訓練したり、身を守る装備についても点検したりしていることを知り、それらが私たちの安全な暮らしを守ることに繋がっていることを学びました。

### <鳥取砂丘コナン空港>

一新した空港を見学しました。各所に名探偵コナンの登場人物のパネルやフィギュアが設置されていて、空港内をめぐりながら楽しみました。空港用化学消防車の見学では、放水の様子を見せてもらい、運転席に座って取り付けられているメーターや機器の説明を受けました。消防車は幅が普通の乗用車の2倍くらい、重さも4トンと巨大で、子どもたちはその装備について熱心に質問していました。



鳥取の空の玄関口がにぎやかで楽しいものになっていました。